

# 平成29年度 養護教諭研究部会 研究計画

研究テーマ 「養護教諭としての専門性を高めるために」

～ 生涯にわたって健康に生き抜く力を育てる健康教育の推進 ～

## 1 研究の目的

子どもたちが、生涯にわたって自らの健康を管理し、生活を改善していく力を身に付けるために、時代の変化と地域の実態に対応した学校保健活動の積極的な推進を図る。

養護教諭の果たす中核的役割や連携の在り方を研究協議する中で、一人一人の資質能力・実践力の向上と専門職としての在り方を一層研究する。

## 2 今年度の研究の方向

養護教諭研究部会の目的は、養護教諭の資質能力・実践力の向上と学校保健を一層推進するために活動することである。今年度は研修会（シンポジウム）・講演会・研究大会の3年サイクルの3年目ということで、美濃地区で研究大会を開催する。1年目の平成27年度は、「食物アレルギー」をテーマにシンポジウムを実施した。保護者・医師・養護教諭の立場から実践提案し、アレルギーのある児童生徒の自己管理と周囲の理解など教育の側面からとらえた対応、保護者や医療と学校をつなぐ養護教諭の役割等を再確認することができた。2年目の平成28年度は講演会「救急判断に必要なフィジカルアセスメント」を開催した。学校において養護教諭は、医療の知識をもつ唯一の専門職であるため、自然災害、事件・事故発生時の傷病者への初期対応や初期判断、児童生徒の心のケアなど重要な役割を担っている。講演会を通して、日常の保健室来室者への基本的なアセスメントについてと、食物アレルギーについて1年目のシンポジウムの内容を想起する、学びの多い研修となった。

今回の研究大会では研究協議を「保健教育」「健康相談」「保健管理・安全管理」とし、新たに「保健管理・安全管理」を研究協議とした。これは学校保健における管理の側面から養護教諭の専門的な視点での対応や役割を再認識することと、自然災害、事件・事故発生時の指導管理における養護教諭の役割について考えること等を目的としている。また、管理を充実することで明らかになった課題を、教育につなげ子どもたちと活動し課題解決に取り組むことや、組織的に課題解決を図ることが、学校保健の推進につながると考える。

さらに、岐阜県養護教諭部会では、代議員会における各郡市養護教諭部会の研究の効果的な交流方法の工夫、部会HPの活用などにより双方向の情報交流や情報発信に努める。また、各郡市養護教諭部会では、研究・研修の充実と若手養護教諭の育成に努める。

## 3 今年度の研究

### (1) 養護教諭研究大会の開催（研究大会要項作成）

日時：平成29年11月22日（水）9：30～15：40

場所：関市文化会館

### (2) 郡市養護教諭研究部会の充実

郡市間研究交流の推進

・代議員会における研究計画の交流

・冊子「ようご」発行

養護教諭研究部会 研究計画

・3年間の研究構想の作成 ・研修会（シンポジウム）要項の作成

# 岐阜県養護教諭研究大会及び研修会について

## 1 形態について

年度	形態	内容	開催地区	次頁参照
1年目	研修会	シンポジウム	岐阜	
2年目	研修会	講演会	西濃 美濃 可茂 東濃 飛騨	
3年目	研究大会	講演会 研究発表	各地区	

岐阜県小中学校教育研究会にならい、3年に1度研究発表を行う。

開催場所については、開催する前年度に決定する。

研究大会分科会の内容及び分担については2年目研修会後に協議する。

発表担当都市が前研究大会において該当する発表を参観できるようにする。

## 2 研究大会の分科会について

健康問題の多様化に伴い、保健学習に養護教諭の知見を生かすことや保健室の機能を生かした養護教諭の対応が期待されるなか、本研究大会においても、平成17年度を機に5分科会（心、保健室経営、性、保健指導、組織活動）を3分科会（保健学習・保健指導、健康相談、組織活動）に精選し、研究を蓄積してきた。

その結果、健康課題を解決するためには、養護教諭がコーディネーターとしての役割を努めて、学校全体で学校保健を進めることが必要であることが確認できた。

東日本大震災や感染症の集団発生を経た今、「危機」発生に備えるとともに、事件・事故災害時の指導管理における養護教諭の役割を研究協議し、子どもたちの安全と安心の確保に努めていきたい。

そこで、平成29年度研究大会分科会における研究協議内容を「保健教育」「健康相談」「保健管理・安全管理」とし、健康教育の推進及び養護教諭に求められる専門性を追求していく。

## 3 研究の進め方について ~ 代議員がリーダー性を発揮していくために ~

- 岐阜県教育委員会が主催する養護教諭郡市代表者会やセンター研修等に積極的に参加し、国や県の方針を把握し、各郡市研究部会において会員に周知し、実践化を図る。
- 本研究部会の全国養護教諭研究大会伝達講習や代議員会において、知り得た養護教諭の研究をもとに研究内容を発展させる。
- 平成29年度に開催する研究大会の趣旨を理解し、会員各自が自校の健康課題を解決するため課題をもって参加し、日常の職務に活かせるようにする。
- 本会発行の「ようご」を活用し、研修の充実に努めるほか、若手養護教諭の育成に努める。